

## 目次

株式会社グロービス スクール受講規約 .....	3
第 1 条（趣旨） .....	3
第 2 条（用語の定義） .....	3
第 3 条（適用） .....	3
第 4 条（受講申込） .....	3
第 5 条（受講要件） .....	4
第 6 条（受講の制限） .....	4
第 7 条（クラスの閉講・休講・変更） .....	4
第 8 条（申込・受講料の支払い） .....	5
第 9 条（キャンセル・変更） .....	5
第 10 条（受講環境の整備） .....	6
第 11 条（教材の配布） .....	6
第 12 条（出席要件） .....	7
第 13 条（成績の評価及び修了認定） .....	7
第 14 条（振替制度） .....	8
第 15 条（クラスの録画） .....	8
第 16 条（学校感染症による出校停止：通学開講） .....	9
第 17 条（休学制度） .....	9
第 18 条（クオリティ・ギャランティ（グロービス品質保証制度）） .....	10
第 19 条（知的財産保護） .....	11
第 20 条（禁止事項） .....	11
第 21 条（不正行為） .....	12
第 22 条（個人情報の取り扱い） .....	13
第 23 条（取得物の取り扱い） .....	13
第 24 条（その他） .....	13
第 25 条（存続規定） .....	14
第 26 条（合意管轄裁判所） .....	14
第 27 条（規約の変更） .....	14
附則 .....	14

マイページ利用規約 .....	15
第 1 条 .....	15
第 2 条 .....	15
第 3 条 .....	15
第 4 条 .....	15
第 5 条 .....	15
第 6 条 .....	16
第 7 条 .....	16
第 8 条 .....	16
第 9 条 .....	17
第 10 条 .....	17
第 11 条 .....	17
第 12 条 .....	18
第 13 条 .....	18
第 14 条 .....	19
附則 .....	19

# 株式会社グロービス スクール受講規約

## 第1条（趣旨）

本規約は、受講生が株式会社グロービス（以下、「当社」という。）の提供するグロービス・マネジメント・スクール、グロービス・エグゼクティブ・スクール（以下、「当スクール」という。）を利用する際に、適用する事項を定めたものです。

## 第2条（用語の定義）

1. 利用者とは、当スクールへ、従業員及び役員等を派遣する法人を指します。
2. 受講生とは、利用者より派遣された、当スクールを受講する個人を指します。
3. 担当者とは、利用者に所属し本規約に基づく当スクールの利用に関する申込手続き、連絡等の事務処理を行う権限を与えられた個人を指します。
4. 当社とは、株式会社グロービスを指します。
5. 当スクールとは、グロービス・マネジメント・スクール、グロービス・エグゼクティブ・スクールの総称を指します。
6. GMSとは、グロービス・マネジメント・スクールを指します。
7. GESとは、グロービス・エグゼクティブ・スクールを指します。
8. 「科目」とは、グロービス・マネジメント・スクールに関するものを指します。
9. 「プログラム」とは、グロービス・エグゼクティブ・スクールに関するものを指します。

## 第3条（適用）

本規約における期日等の起算基準はすべて日本標準時とします。

## 第4条（受講申込）

1. 利用者及び受講生は、当社所定の申込方法に従い、申込を行うものとします。また、受講生本人が申込む場合には、利用者の許諾をもって、申込が完了するものとします。
2. 受講生が過去に当スクールを利用した履歴があり、同一人物であることが確認された場合、申込時の入力内容に基づき、当社は、既存の登録情報を必要に応じて変更することがあります。
3. 同一科目及びプログラムを1年以内に受講された場合は、当該科目及びプログラムを受講いただけない場合があります。

- 各クラス申込後、キャンセル・変更を希望する場合は、利用者を通じて申請を行うものとし、受講生からの申請は受け付けないこととします。第9条（キャンセル・変更）に従いキャンセル料を徴収します。

## 第5条（受講要件）

原則1年以上のビジネス経験があること。また、一部のプログラムにはプログラム特性上、一定の条件がある場合があります。

## 第6条（受講の制限）

以下に当てはまる場合当社が判断した場合、申込をお断りさせていただく場合があります。すでに申込済の場合には、利用者からのキャンセルとして取り扱い、本規約に定める第9条（キャンセル・変更）を適用し、キャンセル料を利用者へ請求するものとします。

- 申込科目やプログラムの受講要件を満たしていないと判断された場合
- 著しくそぐわない言動を当社が認めた場合または第20条（禁止事項）及び別途定めるマイページ利用規約第12条への違反を認めた場合（受講開始前及び受講期の途中であってもそれ以降、受講いただけない場合があります。また、当社が必要と判断した場合には、当該受講生の許諾・通知をすることなく、利用者に対し、報告する場合があります。
- グロービス経営大学院本科生ならびに入学予定者におけるGMS及びGES一部プログラム受講希望の場合
- 同一科目・プログラムの1年以内での再受講希望の場合
- GMS科目において総合成績でF評価が3科目以上となった場合（2002年4月期以降受講のものから対象となります。3科目目のF評価が出た段階で受講中の科目については、最終回まで受講いただけます。

## 第7条（クラスの閉講・休講・変更）

- 学習効果の観点から、受講生数が一定に達しない場合、あるいはやむを得ない事由がある場合、クラスを閉講することがあります。
- クラスの閉講は、当該クラスの初回開講日の14日前までに決定し、閉講が決定した場合、利用者経由で通知します。
- 講師の都合により、代理の講師による講義、あるいは日時・場所・開講形態等が変更になる場合があります。

4. 開講決定後において、下記の場合には、クラスを休講・閉講・延期・開講形態を変更することがあります。
  - (1) 当社都合の事由を除き、暴動、テロリズム、天災、疫病、又は当事者の合理的支配を超えた偶発的事象により、クラスの開催が困難となったとき
  - (2) 担当講師の不測の事故、病気、慶弔時等のとき
  - (3) 施設の保守点検、改修工事等がおこなわれるとき
  - (4) その他、当社が、不可抗力により開講が不可能と判断したとき
5. 当社の都合により、科目・プログラムの変更・キャンセルや受講期の延期をせざるを得ない場合、速やかにダウンロードした教材を破棄していただきます。

## 第8条（申込・受講料の支払い）

1. 原則利用者が受講料の支払義務を負担し、利用者は、当社に対して、受講料を支払うものとします。
2. ただし、当社が認める場合に限り利用者の指示のもと受講生が受講料の支払債務を受け利用者とともに履行することができます。この場合受講生は、当社に対して、受講料を支払うものとします。ただし、利用者は、連帯してこの債務を負うものとします。
3. 受講料は、開講月末締め・翌月末払いとし、銀行振込（振込手数料は振込者負担）にて支払うものとします。クレジットカードはご利用になれません。
4. 受講料の支払いは、申込後に当社が発行する請求書記載の支払期日までに着金するよう手続きを完了するものとします。なお、当社への事前通知なく支払期日を過ぎた場合、延滞利息（年利 12%）を徴収する場合があります。
5. 各手続きに伴う手数料は支払者が負担するものとします。原則領収書は取扱金融機関等の振込受領書をもって代えるものとします。ただし、一部支払い方法においては、マイページより領収書をダウンロードいただけます。

## 第9条（キャンセル・変更）

1. 申込の変更またはキャンセルは、利用者からの申請があった場合に限り有効とします。受講生本人からの申請は、受け付けません。
2. 開講日以降のキャンセル、科目及びプログラム・クラスの変更は不可とし、受講料全額を徴収します。納付された受講料は返金しません。
3. 申込をキャンセルする場合、受講生は、速やかにダウンロードした当該科目及びプログラムの教材を破棄していただきます。

4. 何らかの都合により開講前に受講が不可能となった場合、納付された受講料を第 8 条（申込・受講料の支払い）に則り、利用者に対し、徴収します。
5. 本項は当社都合の事由を除き、暴動、テロリズム、天災、地震、疫病、又は当事者の合理的支配を超えた偶発的事象によりクラス開催が困難となった場合にも適用されるものとします。

## 第 10 条（受講環境の整備）

1. 受講環境は、当社が指定する受講に必要となる環境を用意するものとします。
  - (1) 受講時に利用する「マイページ」利用に対応した環境
  - (2) 課題作成・提出にあたってソフトウェアの準備等
2. 詳細は下記 URL 及び教材ダウンロード時に確認できるシラバスの指示に則って準備するものとします。  
受講に必要な環境について：<https://sh.globis.co.jp/hc/ja/articles/900001005903>
3. 受講環境に異常が見られた際にも、受講生自身の責任下にあるものとします。必要に応じて利用者に申し出を行うこととします。
4. 当スクール又は受講生自身が契約しているインターネット・アクセスプロバイダーその他電気通信事業者に起因して発生したブロードバンドの利用、及び授業への参加に関する一切のトラブル等に関しても、当社では一切の補償は行わないものとします。
5. 受講生が整備したインフラに起因するノイズ等のトラブルにより、他の受講生の受講環境を大きく損なう場合には、担当講師の判断により、受講環境が改善するまでの間、受講生のクラス参加を差し止めることができます。
6. クラスの特性により、SNS サービス、Web サービス、アプリケーションの利用を推奨する場合がありますが、受講生は自己責任で利用するものとします。

## 第 11 条（教材の配布）

1. 教材は、各期開講日の約 3 週間前より、各受講生にマイページよりダウンロードし入手していただきます。受講生の事情により開講までにダウンロードできない、もしくは開講直前のダウンロードとなり受講に支障が出る場合も、当社は一切の責任を負わないものとします。
2. 科目及びプログラム毎の教科書・参考図書（MBA シリーズ等）は、書店で購入等、受講生もしくは利用者にて用意するものとします。
3. 教材ダウンロード後、科目・プログラムのキャンセル・変更により受講しない科目・プログラムについては、該当教材を速やかに破棄するものとします。

## 第 12 条（出席要件）

1. クラス中に、映像・発言・挙手等において、講師が受講生を目視による確認ができた場合にのみ、当該受講生がクラスに参加したものとみなします。
2. クラスへの参加時間が、各 Day の開催時間のうち 2 時間以上の場合に、当該 Day に出席したものとみなし、評価の対象とします。
3. クラス開催時間のうち 1 時間を超える遅刻、早退、途中退席、システム未接続（オンライン開講のクラス）等により、参加時間が 2 時間に満たない場合は、当該 Day を欠席したものとみなします。
4. 累積 1 時間未満の遅刻・早退・退席については、前 2 項に従い当該 Day に出席したものとみなしますが、当該受講科目・プログラムにおけるその頻度や累積時間によっては、担当講師が総合成績を決定する際、総合評価点の合計から減点対象となる場合があります。

## 第 13 条（成績の評価及び修了認定）

1. 受講後、所定の評価基準により総合成績の評価を行い、修了/不可を判定します。
  - (1) GMS 科目は、「A/B/C/D/F/評価対象外の修了判定を行い、A/B/C/D を修了、F/評価対象外を不可とします。「不可」である F 評価とは、科目毎に定められた評価対象条件を満たした上で、修了に値しないと判断された場合のことを指し、評価対象外は、所定の評価対象を満たしていないことを指します。
  - (2) GES プログラムは、「P/評価対象外」の修了判定を行い、P を修了、評価対象外を不可とします。評価対象外は、所定の評価対象条件を満たしていないことを指します。
2. 評価対象を満たした方は、当該期開講の全クラス成績確定後、「成績証明書」をマイページからダウンロードいただけます。
3. 受講生の成績（出欠・発言状況・各種評価等）及び受講中のアサインメント・レビュー ブック等の提出物は利用者に開示されます。
4. 提出物は所定の方法で期限内までに提出されたもののみ評価の対象とします。なお、受講する科目及びプログラムの開催言語で作成していない提出物は、評価の対象としません。
5. 出欠・提出物の提出状況等の成績評価に関する修正・変更は、最終評価確定から 14 日以内に受講生から当スクールへ申し出るものとします。

## 第 14 条（振替制度）

1. 業務やその他のやむを得ない事由により、所属クラスに出席できない場合、以下の条件にて、同一科目及びプログラムのクラスに振替出席することができます。なお、振替制度はあくまでクラスへの参加の機会を提供するものであり、評価や受講にあたっては、下記の条件及び 2 項以降の制限を設けるものとします。
  - (1) 振替先のクラス開始時刻までに受講生本人がマイページから登録すること
  - (2) 振替先のクラスが、受講を開始した期に開講されている同一科目又は同一プログラムの他クラスであること。業務やその他のやむを得ない事由により、所属クラスに出席できない場合以外は、振替出席の理由として認めません。
  - (3) 振替先のクラスの定員に空きがあること
2. クラスを振り替えた場合、当該 Day の発言やアサインメント等の評価は、振替先のクラスの講師が行いますが、レポート及び総合成績の評価は、所属クラスの担当講師が行います。
3. 受講順序（Day）が逆転した日程で開講するクラスとなる場合、一部プログラムを除き振替は認められません。
4. 評価対象条件の 1 つとして「レポート」が課せられている科目・プログラムの場合、所属クラス、振替先のクラスにおいて、いずれか早い日程のクラスの所定の期限までにレポートを提出することが求められます。提出期限を過ぎるとレポートは未提出扱いとなり、総合成績は不可（評価対象外）となります。
5. ディスカッション機能の利用は、所属クラスのみです。振替出席をした場合であっても、振替先のクラスグループ機能の利用及び閲覧は認められません。

## 第 15 条（クラスの録画）

1. 所属クラスがオンライン開講の場合、最終的に出席ができず欠席した場合において、所属クラスの録画情報の視聴を認めます。このため、当社は、オンライン開講のクラスにおいて、各クラスの映像を録画し、保存するものとします。ただし、所属クラスが通学開講でオンラインクラスへ振り替えた場合、最終的に出席ができず欠席した当該 Day であっても、録画情報の視聴を認めないものとします。欠席回の録画は補助的手段であり、出席評価扱いとはなりません。
2. オンライン開講のクラスにおいて、各クラスの映像を録画し、保存するものとします。前項に定めるクラスの録画は、当該クラス欠席者の他、当スクールが適切と定めた第三者に対し、閲覧を許可する場合があります。

## 第 16 条（学校感染症による出校停止：通学開講）

1. 通学開講のクラスにおいて、文部科学省が学校保健安全法施行規則第 18 条に定める感染症に罹患した受講生については、通学クラスへの出校を停止するものとします。
2. 前 1 項に従いクラスを欠席した場合、当社の定める期限に則って、受講生からの申請及び医師の診断書等の提出をもって、出校停止の当該 Day については出席扱いとする特別措置を認めます。
3. 所定の申請に基づき当社が認めた場合、利用者へ当該措置の事実を通知できるものとします。なお、この通知は、当該措置が受講契約上の出欠・評価等に影響を及ぼす可能性があるために必要なものとし、個別の健康・診断内容の詳細を含むものではありません。

## 第 17 条（休学制度）

1. 所属クラス開講以降、振替制度を利用しても、以下のようなやむを得ない特殊事由により、当該クラスへの出席や必要提出物の提出が難しく、科目及びプログラムの評価対象条件を満たせない場合、受講生の申請に基づき当スクールが審査をした後、休学が認められる場合があります。
  - (1) 天災
  - (2) 本人の入院・長期通院
  - (3) 二親等以内の家族ないしこれに準ずる方の死亡・入院
  - (4) 社命による異動・長期出張
  - (5) その他、当スクールが認める所属クラスへの出席が著しく困難となる事由

※自主的な転職活動や、居住地の変更を伴わない異動等による業務多忙や執務環境の変化は、休学の申請事由として認められません。

2. 受講生は、休学を申請する場合、休学申請の事由を記した申請書を所定の方法にて当スクールに提出するものとします。又、申請は、休学に相当する事象が発生次第、速やかに行ってください。
  - (1) 当スクールは、申請事由と申請時期を踏まえ、休学の審査を行います。
  - (2) 受講生からの申請が困難であり、かつ当社判断においても著しく困難な事由であると認められると、利用者からの申請が可能な場合があります。
  - (3) 総合成績確定後は、遡っての休学は一切認められません。
3. 所定の申請に基づき当社が認めた場合、当社は利用者へ当該措置の事実を通知できるものとします。なお、この通知は、当該措置が受講契約上の出欠・評価等に影響を及ぼ

す可能性があるために必要なものとし、個別の健康・診断内容の詳細を含むものではありません。

4. 休学申請が認められた場合、欠席した Day は、翌開講期の当該 Day に受講していただきます。その際の成績判定は、復学した期のクラス終了後に、休学前/復学後の出席や発言、レポートの評価等を基に行います。ただし、オンライン開講のクラスにおいて、欠席に伴う録画視聴を行った Day は復学期の受講対象にはなりません。
5. 復学は翌開講期のみとし、休学の延長は認められません。
  - (1) 受講形式は休学前から変更となる場合があります。(復学期に通学が開講していない場合は、オンラインクラスでの復学となります)
  - (2) 復学するクラスは、当スクールからの指示に従い、翌開講期の開始前に受講生が自分で選択するものとします。期限までに復学するクラスを選択しない場合は、当スクールが復学クラスを指定します。
  - (3) クラスの受講に関する制度等については、復学時のスクール受講規約を適用します。
6. 一旦休学が承認された後の取り消しは認められません。
7. 休学後、翌開講期に受講が不可能になった場合でも、キャンセルはできません。また、納付された受講料の返金はいたしません。

#### 第18条（クオリティ・ギャランティ（グロービス品質保証制度））

1. 科目及びプログラムの評価対象条件を満たしてなお、所期の学習効果が認められなかつた場合、受講生本人から当スクールへの申請に基づき、審議の上、受講料全額を支払者へ返金します。
2. 申請期限は、所属クラスの Day6 (全12回プログラムはDay12) から14日以内とします。なお、Day6 (全12回プログラムはDay12) を振替した場合は、振替先のクラスの開催日から14日以内とします。
3. 返金は、受講生本人から申請があった日から2ヶ月以内を原則とします。
4. 当制度による返金は1受講生につき1科目及び1プログラムのみとし、以降の当制度の利用は認めません。
5. クオリティ・ギャランティが認められた科目及びプログラムは、以降、受講いただけません。
6. 審議の上、本制度が適用された場合には、利用者へ開示します。

## 第 19 条（知的財産保護）

1. 本サービスに関連して受講生に提供される教材、資料、図表、音声、動画、プログラムその他のコンテンツ（以下「教材等」といいます）に関する著作権その他一切の知的財産権は、当社または当社に利用を許諾する第三者に帰属します。
2. 受講生は、当社の書面による事前の承諾がない限り、教材等を以下の目的または方法で使用してはなりません。
  - (1) 複製、改変、転載、転送、送信、翻案、公衆送信（インターネットへの掲載等を含む）、貸与、販売、翻訳、出版その他これに類する行為
  - (2) 他の受講生または第三者への提供（業務上の共有やチーム内展開を含みます）
  - (3) 営利目的での利用
3. 受講生が前条に違反し、当社または第三者に損害を与えた場合、当社は当該受講生に対し損害賠償を請求することがあります。
4. 当社は必要に応じて、当該違反行為について利用者に報告するとともに、当該受講生に対して受講制限その他必要な措置を講じることがあります。

## 第 20 条（禁止事項）

以下のような行為が見られた場合、第 6 条（受講の制限）に従い、受講をお断りすることがあります。又、第 20 条（禁止事項）に該当しうる行為に関する事項は、当社の判断において、利用者に開示される場合があります。

1. 受講生が意図的に、あるいは適切な措置を怠ったことにより、以下のような情報漏洩を起こすこと
  - (1) カリキュラム内容・教材、配付資料等の複製（受講生が自身のデータ保管のために行う私的複製を除く）及び他人への譲渡
  - (2) SNS 等におけるカリキュラム内容・教材、配付資料等の引用や転載
  - (3) クラス及び録画提供における写真撮影、録音、録画、キャプチャ等、またはそれを配布する行為
  - (4) 生成 AI に対する知的財産に関わる情報を入力する行為
2. 特定の範囲でのみ共有された機密情報を、第三者へ公開する行為（クラスのメンバー以外の第三者に情報を伝えること、SNS 等の情報媒体への書き込み等、一切の情報漏洩行為）
  - (1) マイページやクラス内にて得た個人情報を、本人に許可なく第三者へ公開する行為

- (2) 授業の内容そのもの等、他の受講生の学びを阻害する恐れのある情報を第三者へ公開する行為（SNS 等情報媒体への書き込み等を含む一切の情報漏洩行為）
- 3. 当該受講生以外に、以下のような受講環境に関わる情報を提供すること
  - (1) 自身のマイページアカウントを他者に貸与または共有する行為
  - (2) 所属クラス及び振替先のクラス以外の受講行為、または第三者をクラスへ参加させる行為
  - (3) 受講生本人以外にも利用可能もしくは閲覧可能なメールアドレスの利用
- 4. ルールを著しく逸脱した申込及び申請をすること
  - (1) 各種申請（受講申込・休学・振替等）において、虚偽の情報を提出する行為
  - (2) 利用想定を上回る席数の申込
- 5. クラス運営に支障をきたすこと
  - (1) クラス内外でのハラスマント行為、誹謗中傷、強引な営業・勧誘等、他者に不利益・不快感を与える一切の行為
  - (2) 講師・運営スタッフ・他受講生の指導・運営を妨げる行為
- 6. 本条に定める禁止行為が確認された場合、当社は以下の措置を講ずることができます。また、行為の重大性に応じて、当社は損害賠償の請求その他法的措置を行う場合があります。
  - (1) 該当受講生への警告または指導
  - (2) 一部またはすべてのクラス受講の停止・失効
  - (3) 修了証発行の取り消し
  - (4) 利用者への報告

## 第 21 条（不正行為）

- 1. 受講にあたり、過去のハンドアウトやノートを見る、当該科目及びプログラムを受講済みの受講生に話を聞く等、独力で予習・授業に取り組まない行為
  - (1) 独力で課題を作成しない行為、あるいは他の受講生のレポート等の課題作成を助ける行為（過去のハンドアウト・アサインメント及びレポートの参照、スプレッドシートをはじめとする勉強会で共有した分析結果の流用、著作物の剽窃、ならびに作成にあたり他者の助けを借りる等）。
  - (2) 生成 AI を利用した課題等作成の行為
- 2. 前項のいずれかに該当する行為が確認された場合、以下の措置を適用することができます。
  - (1) 不正行為の対象が総合評価の算出に関する課題の場合、無効扱いとします。

- (2) レポートにおける不正行為の場合は、GMS の科目は成績を F 評価、GES のプログラムは評価対象外とします。
  - (3) 行為の重大性に応じて、当該期の全科目の受講・修了を取り消すことがあります。
3. 当社は、不正行為が確認された場合、以下の対応を行う場合があります。
- (1) 受講生本人への書面通知または口頭連絡による警告
  - (2) 第 21 条（不正行為）に該当しうる行為に関する事項は、当社の判断において利用者への開示・報告をする場合があります。

## 第 22 条（個人情報の取り扱い）

- 1. 取得した個人情報は、グロービスのプライバシーポリシー (<https://www.globis.co.jp/privacy/>) に基づき適切に管理し、必要な範囲で利用します。
- 2. 受講生の個人情報削除、利用の停止又は消去（以下「削除等」という）を希望する場合、当社は当該受講生及び利用者双方の事前の同意または意思確認をもって、削除等の請求に対応するものとします。
- 3. 受講履歴、成績、提出物、アンケート等の学習記録は、当社が適切な期間保存し、当社または利用者における学習支援や研修管理の目的で利用する場合があります。

## 第 23 条（取得物の取り扱い）

- 1. グロービス各キャンパス内において拾得された遺失物（忘れ物・落とし物）は、原則当スクールにて（3ヶ月間）保管します。保管期間を過ぎても持ち主からの申し出がない場合には、適切な方法で処分します。
- 2. 現金、現金入りの物品（財布等）、その他貴重品に該当する拾得物については、受領後速やかに警察署へ届け出をします。
- 3. 持ち主が判明している場合は、受講申込時等に登録された連絡先へ通知を行う場合があります。通知後も一定期間内に回収されない場合は、当スクールにて処分することがあります。

## 第 24 条（その他）

- 1. 暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる反社会的勢力の構成員、又はその関係者であることが判明した場合、受講前、中を問わずクラス受講をお断りします。
- 2. グロービス施設のご利用については、クラスの受講期間内とします。

## 第 25 条（存続規定）

本規約の第 19 条（知的財産保護）、第 20 条（禁止事項）第 2 項、第 22 条（個人情報の取り扱い）の各項目は、サービス利用終了後も有効に存続するものとします。

## 第 26 条（合意管轄裁判所）

本規約は日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとします。本規約または本サービスに関して受講生と当社の間に生じた紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

## 第 27 条（規約の変更）

1. 本規約の内容は予告無く変更されることがあり、変更された場合はその時点で新しい規約が適用されます。規約変更時には、当社の定める方法にて通知します。
2. 本規約は日本法に準拠し、本規約または本サービスに関して受講生と当社の間に生じた紛争については、当社の定める方法にて通知します。

## 附則

1. 本規約は、2026 年 1 月 7 日から施行します。

# マイページ利用規約

## 第1条

1. 本利用規約は、グロービスにおけるマイページの利用条件を定めるものです。
2. 本規約におけるグロービスとは、学校法人グロービス経営大学院ならびに株式会社グロービスを指すものとします。

## 第2条

1. グロービスは、マイページの利用を許可したユーザーに対して、マイページのアカウントを発行します。
2. ユーザーは、マイページの利用にあたり、本規約その他のグロービスの各種規則を遵守するものとします。

## 第3条

1. グロービスは、ユーザーの円滑な申込・受講の手続きや、クラス及びコミュニティの活性化等を目的に、マイページを運営・管理します。

## 第4条

1. マイページのユーザーID及びパスワードは、ユーザーが管理責任を負うものとします。
2. ユーザーは、ID及びパスワードの貸与・譲渡・売買等を行ってはならないものとします。
3. ID・パスワードの管理不十分・使用上の過誤・第三者の使用等による損害の責任は、ユーザーが負うものとし、グロービスは一切の責任を負いません。
4. ユーザーがID・パスワードを失念した場合又は第三者に使用されていることを知った場合には、速やかにグロービスにその旨を連絡し、グロービスは必要に応じて、ID・パスワードの変更等の処置をとるものとします。

## 第5条

1. プロフィール登録情報に変更が生じた場合、ユーザーは速やかに所定の変更手続きを行うものとします。

## 第 6 条

1. マイページにおける個人情報の取扱いに当たり、グロービスはプライバシーポリシー (<https://globis.co.jp/privacy/>) に基づき適切に管理し、必要な範囲で利用します。ただし、以下の場合、本人の同意なく、個人情報を開示することがあります。
  - (1) 裁判所や警察等の公的機関から法律に基づく正式な照会を受けた場合
  - (2) 機密保持契約を結んだ協力企業から開示の要求を受けた場合
  - (3) その他、合理的理由に基づき開示することが適切であるとグロービスが判断した場合
2. ユーザーが個人情報の削除や利用停止を希望する場合、グロービスは、グロービス経営大学院日本語 MBA プログラム受講規約第 35 条及び株式会社グロービス受講規約第 22 条に則り、適切に対応します。

## 第 7 条

1. 第 3 条の目的のため、マイページではプロフィール機能に登録された以下の情報を申込を行ったクラスに所属するユーザーへ開示します。
  - (1) 氏名
  - (2) ふりがな
  - (3) 居住国

## 第 8 条

1. ユーザーは、マイページを利用して取得できるコンテンツ（文章、画像、映像、データ等を含む。）を、すべて第 11 条に定める秘密情報として取り扱うものとし、クラス及びコミュニティの活性化以外の目的で利用してはいけません。
2. ユーザーは自らの責任において、マイページで自由に情報発信を行うことができます。
3. コミュニティに参加する場合、そのコミュニティのテーマや運営方針が明示されているときは、これに沿った参加をしなければなりません。マイページの運営に支障をきたす、またはグロービスあるいは第三者（他のユーザーを含む以下同じ）の権利を害する惧れがあると判断した場合、グロービスは当該ユーザーの当該コミュニティへの参加を取り消すことができます。

## 第 9 条

1. グロービスは、アクセス数またはデータ量の増大によりマイページの円滑な提供に支障をきたすことを防ぐため、ユーザーのデータへのアクセスを所定の期日まで認めるものとします。
2. クラスディスカッション機能は、申込を行ったクラスにおける議論やコミュニケーションのため、アクセス可能期日を当該クラス終了後 3 年間とします。
3. 所属クラス「クラス詳細」内にアップロードされた各種課題データは、アクセス可能期日を提出日から 6 か月間とします。
4. 第 1 項の目的のため、第 2 項及び第 3 項に定めた内容を除き、グロービスはユーザーの承諾を得ることなくマイページ内のデータ削除や一時的なマイページ内のサービス提供の停止を行う場合があります。

## 第 10 条

1. ユーザーがマイページを利用して投稿または編集したコンテンツ（文章、画像、映像、データ等を含む。以下「本コンテンツ」という。）の著作権は当該ユーザーに留保されるものとします。ただし、ユーザーは、グロービスに対し、グロービスのサービスの提供、品質向上、研究開発、及びこれに付随する目的を達成するために必要な範囲で、世界的、非独占的、無償、サブライセンス可能かつ譲渡可能な使用、複製、配布、派生著作物の作成、表示及び実行に関するライセンスを付与するものとし、著作者人格権を行使しないものとします。

## 第 11 条

1. 本規約において「秘密情報」とは、ユーザーがマイページを利用して投稿、アップロード、または編集した一切の本コンテンツをいいます。
2. グロービスは、サービスの提供、品質向上、利便性改善、ユーザーのパーソナライズされた UI/UX の開発、新サービス及びコンテンツの研究開発、学習効率向上のための学術研究、ならびにこれらに付随する目的（以下本条において「本目的」という。）を達成するため、秘密情報を含む本コンテンツを、参照、分析、複製、加工、機械学習(Machine Learning) 及び生成 AI 技術を用いた研究開発を行うことができるものとし、ユーザーは許諾するものとします。
3. グロービスは、秘密情報を善良な管理者の注意をもって厳重に管理し、本目的以外のために秘密情報を使用しないものとします。

4. 第2項を達成するために、外部のAIサービスを利用する場合があります。この場合、秘密情報が当該外部サービスの機械学習モデルに蓄積または再利用されないよう、契約上厳格な義務を課すツールを選定し、グロービスの定める厳守された環境下においてのみ実施するものとします。

## 第12条

1. ユーザーは、マイページの利用にあたり、以下の行為をしてはなりません。
  - (1) 法令または公序良俗に違反する行為
  - (2) 犯罪行為に関する行為
  - (3) グロービスのサーバーまたはネットワークの機能を破壊したり、妨害したりする行為
  - (4) グロービスのサービスの運営を妨害する行為
  - (5) 他のユーザーに関する個人情報等の収集、蓄積、または他者へ共有する行為
  - (6) 他のユーザーに成りすます行為
  - (7) グロービスのサービスに関連して、反社会的勢力に対して直接または間接に利益を供与する行為
  - (8) グロービス、マイページの他の利用者または第三者の知的財産権、肖像権、プライバシー、名誉その他の権利または利益を侵害する行為
  - (9) 過度に暴力的な表現、露骨な性的表現、人種、国籍、信条、性別、社会的身分、門地等による差別につながる表現、自殺、自傷行為、薬物乱用を助長する表現、その他反社会的な内容を含み他人に不快感を与える表現を投稿または送信する行為
  - (10) 営業、宣伝、広告、誘導、その他営利を目的とする行為（グロービスの認めたものを除きます。）他のユーザーに対する嫌がらせや誹謗中傷を目的とする行為、その他マイページが予定している利用目的と異なる目的でマイページを利用する行為
  - (11) 宗教活動または宗教団体への勧誘行為
  - (12) その他、グロービスが不適切と判断する行為

## 第13条

1. グロービスでは、誰もが快適にマイページを利用できるよう、不適切な投稿の排除に努めます。そのためにはユーザーの皆さまのご協力が必要です。マイページ上で利用規約

に違反していると思われる投稿を見つけた場合は、マイページの報告手順に基づき、グロービスにご報告ください。

## 第 14 条

1. ユーザーは以下の免責事項を了解のうえ、マイページを利用することとします。
  - (1) マイページの利用について、ユーザー自身の責任において行っていただくとともに、グロービスは、マイページの利用により発生したユーザーの損害全てに対し、どのような責任も負わないものとします。また、当該損害の賠償をする義務も一切ないものとします。
  - (2) マイページの内容はグロービスがその時点で提供可能な内容とします。グロービスは、提供する情報、ユーザーが登録する情報について、その完全性、適用性、有用性等いかなる保証も行いません。
  - (3) マイページの運営において、グロービスが必要と判断した場合にはユーザーの皆さまへ通知することなく、いつでもサービスの内容を変更、停止、中断ができるものとします。グロービスはどのような理由においてもマイページの提供の停止、中断、遅延等が発生し、その結果ユーザーまたは他の第三者が損害を被ったとしても当該損害について一切の責任を負わないものとします。
  - (4) グロービスは、ユーザーへの事前の通知なくして、マイページの諸条件運用規則、またマイページの内容を変更することがあり、ユーザーはこれに承諾します。この変更には、マイページの内容の部分的な改廃等を含みますが、これらに限りません。
  - (5) グロービスは、マイページを通じてユーザー同士でなされた情報の授受、及びそれに付随して行われる行為について一切責任を負わないものとします。
  - (6) グロービスは、マイページを通じてユーザー同士でなされた情報の授受に関して当該情報が各種ウイルスに感染していたことにより、グロービス、他のユーザーまたは第三者が損害を被った場合、当該情報を掲載したユーザーはその損害を賠償するものとします。また、グロービスは当該損害についてユーザーまたは第三者について一切責任を負わないものとします。
  - (7) (1)、(3) 第 2 文、(5) 及び (6) 第 2 文は、グロービスに故意または重過失がある場合またはユーザーが消費者契約法上の消費者に該当する場合には適用しません。

## 附則

1. 本規約は、2026 年 1 月 7 日から施行します。